

## 花壇作り

作成者：日本ハンギングバスケット協会 山口 まり

- 対象者・人数：小学生1クラス30～40名（約6班）
- 所要時間：1回45～90分 ※年間を通じて管理
- 指導者・アシスタント人数：指導者1名、アシスタント1～5名（参加人数により増減）
- 実施場所：学校花壇 地域の花壇 児童館花壇等



### ■ 資材

- ・大型スコップ
- ・レーキ
- ・シャベル
- ・紐（麻紐やビニール紐）
- ・割り箸や小枝
- ・元肥（緩効性化成肥料）
- ・堆肥・腐葉土（土壌改良用）
- ・その他（手袋・手拭タオル・汚れても良い服装）



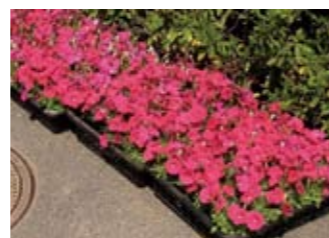
レーキ



大型スコップ

### ■ 花材

- ・ペチュニア（春～夏花壇）
- ・ニチニチソウ（春～夏花壇）
- ・パンジー・ビオラ（秋～春花壇）
- ・球根類 等



ペチュニア

### ■ その他必要な道具等

- ・水やり用ホース or ジョウロ
- ・メジャー
- ・土壌酸度測定器、又は、酸度測定キット（用意が可能であれば）
- ・掃除道具



パンジー

### 【指導内容と目的】

- ・花壇や空き地に花苗を植え、その花が生長し花を咲かせることにより、その場が美しく・心地良い環境に変貌することへの実感とその必要性を感じて欲しい。
- ・花壇作りのために、子どもたちが力を合わせて計画を立て、維持・管理することにより、植物が生長し、美しく花開くことの喜びを感じさせたい。
- ・花への親しみが増すことにより、日々の暮らしの中でも継続的に花への興味を持って欲しい。
- ・学校や地域が花により美しくなり、みんなの安らぎや潤いの場所になるばかりでなく、地域の人たちとのコミュニケーションの場として活用してほしい。
- ・多人数で力を合わせての作業になるので、スムーズに進めるためには、話し合い・共同作業・役割分担が必要となる。
- ・花壇の設営から関われる（長い場合は数年）ので、植物の生育・管理などの過程を理解できる。
- ・花壇作りには目的やテーマが必要であることの認識。
- ・植栽デザインを計画する。（植物知識の向上、創造性）
- ・より良い生育の環境を整えるための土作りが必要であることを知る。
- ・日々の観察（水切れ・枯葉や花ガラの除去・病虫害の発生）の重要性を学ぶ。
- ・美しく花壇を維持するためのメンテナンスの重要性も伝える。
- ・花壇作りだけでなく、その活用法や発展も考える。  
地域への開放：オープンガーデン → おもてなし。  
植物の利用：切花をアレンジや、押し花をしてプレゼントする。  
種子の採集を行い次年度への引継ぎをする。

### 【対象者への配慮】

- ・クラス単位など大人数などで行なうと、共同作業に参加しにくい児童もいるので、事前に担任や担当者と協議し参加しやすい環境を整える。
- ・参加者が、平等に作業や発言できるよう心掛ける。
- ・指導者やアシスタントは、作業中にあまり手を貸さず、子どもたちに作業をさせる。
- ・作業の組み立ての計画もさせるとよい。
- ・土起こしなどの力の必要な作業は、大人があらかじめ手伝いをしてよい。
- ・汚れても良い服装とガーデニング用手袋や軍手を持参させる。
- ・花壇は、中に入らなくても手が届く範囲の幅が良い。
- ・花壇の幅が広い場合は、作業範囲に合わせて、通路を確保しておく。
- ・全員が参加できない作業では、待機しているグループはすわって順番を待つようにする。

① 事前の準備

年間花壇作業目安

南関東での場合

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
作業計画	花壇の場所の決定 球根・必要資材等の決定 植栽デザインと花苗・球根の決定	年間計画の策定 花壇のレイアウト 花壇の整地/花苗の手配	花壇のレイアウト 花壇の整地	花方ラ摘み等の管理 虫や病気・成長過程の観察		計画確認 冬・春花壇へ向け	花苗・資材等の手配	花壇のレイアウト 花壇の整地			次年度の計画策定 植栽デザインと花苗・球根・必要資材等の決定		
タネまき		←春蒔き→				←夏～秋蒔き→							
育苗		←→				←→							
花苗植え付け		←→				←→		←→					
球根植え付け		←春植え→			←夏植→			←秋植え→					
球根の掘り上げ		←→						←→					
切り戻し				←→									
利用		花株撤去時の開花中の花の利用		切り戻し時にアレンジや押し花作成など			花株撤去時の開花中の花の利用						
花ガラ摘み		←→		←→		←→		←→					
草取り		←→		←→		←→		←→					
水やり				←→		←→		←→					
土作り・施肥	←→			←→	追肥		←→						
病虫害観察	←→			←→		←→		←→					

- \* 花壇のテーマを決める
- \* 植栽図の作成(植物の広がりや草丈)・開花時のイメージの絵を描かせても良い
- \* 開花カレンダーの作成
- \* 作業目安カレンダーの作成
- \* 必要資材・道具・花苗の数等のリストアップ

② 事前の準備

■ 資材の用意

主催者や学校などとの協議

- ・花壇の設営場所を学校や地域と協議(作業工程・年間作業計画などの提出)。  
学年、参加人数、授業・課外活動・クラブ活動なのか、費やせる時間の確認。
- ・屋外での作業の為、実施は天候に左右されるので、予備日の設定する。
- ・資材・備品の確認。
- ・経費の確認。
- ・参加学年、人数の確認。
- ・ゴミ処理の方法の確認(残土や花ガラ、ビニールポットやトレー等)。
- \* グランド脇の花壇では、ライン引き用に使用した石灰の影響を受けアルカリ性になっていることがあるので、可能であれば土壌を酸度計で測定し、酸度を調整しておく

子どもたちと共に活動

①～④の過程では、子どもたちにどこの過程から参加、どの項目を参加させるかは、学校や主催者と協議する。(時間の制約、道具類の調達、作業の軽重などによる)

- ① 花壇の設営場所の決定(予め決められた場所か、任意の場所を選んでも良いか)
- ② 花壇の調査(広さ・環境:建物・道路・樹木の位置や四季の日当たり条件など・土壌)
- ③ 調査を元に子どもたちとともに花壇の計画を立案(出来れば1年間)
  - ・花壇に植え込むまでの作業工程づくり。
  - ・周囲の環境をふまえた花壇デザイン・植栽デザインを考える。
  - ・花苗を植えられる状態にするため、除草、土作りを行なう。
  - ・花壇の縁取りや植栽位置の印付け(割り箸と紐を使う)
- ④ 資材の発注
  - ・面積から必要量を算出し、肥料・堆肥などを発注。
- ⑤ 植物の選定と発注
  - ・購入の場合は、なるべく地域で生産されている種類がよい。市場から仕入れる場合は産地等を確認しておく。(生産現場を見学に行くことで、花苗に親しみが湧く)
  - ・寄贈いただく場合は、種類・品種・色等について確認しておく。
  - ・数量は、16～25ポット/m<sup>2</sup>必要
- ⑥ 植物についての学習→座学
  - ・パワーポイントでスライド、紙芝居を作り、人と植物の関係や植物が必要な意味・生長過程・植え込む花苗について目で見ても分かりやすい形で説明し、参加する子どもたちに共通の興味を持ってもらう。
  - ・実際に植え込む際の注意(ポットからの抜き方、根鉢の扱い方、植え付けの方法)を、花苗を使いながら説明する。
  - ・参加する年齢により、講義内容を分かりやすい言葉で説明する。



## ③ 当日の流れ (学校花壇へ植え付け例)

全体の時間：(所要時間) 10:20～12:00 等 (授業の2時限分)

次の授業を考えて、授業終了の10分前には、全作業を終了する。

予め、子どもたちの役割分担を決めておき、作業をスムーズに進める。

(担任や子どもたちと協議)

## ■ 具体的な手順

花壇付近に集合し、今日の手順と諸注意を再確認する(子どもたちは、しゃがんで話を聞く)

必要な道具類の準備と確認。

デザインに添って、紐で場所割り、畝立て等行なう。

デザインに添って、花苗を配置する。

再度、花苗の扱い方、植え方を実技を交えて説明する。



## ■ 植え込み開始

・予め、植える位置と一人当たりの株数を決めておく。

・全員で1度に作業できないときは、作業順も決めておく。

・待機者は、しゃがんで全員が終わるのを待つ。

・植え終わったら、水やりを行う。

・水やりの間にビニールポットの廃棄、使用した道具類を水洗いして片付ける。

・集合し、これからの管理方法を説明し、終わりの挨拶をする。



## ■ 指導ポイント

・机上で作った計画を具体化する喜びと実際の花苗の扱い方を学習する。

・植物が生長し花が咲き、美しく彩ったときの喜びと達成感。

・花壇を美しく長く維持するには、日々の管理が必要なことを理解する。



## ■ 所要時間や配分

開始60分前	①集合・学校や主催者への挨拶・打合せ。 使用する花壇の確認・花苗の確認。
↓	
10分 (10分)	②生徒集合：挨拶 (講師・アシスタント自己紹介) 作業についての諸注意。
↓	
20分 (10分)	③グループに分かれて、手分けして準備をする。 作業に必要な道具、花苗を花壇近くに運搬、デザインの目安付けなど。
↓	
30分 (10分)	④デザインにあわせて、畝たてや通路を確保する。
↓	
35分 (5分)	⑤植え込み予定の花苗を置いてみる。 全体を眺め、デザインや配置の確認をする。
↓	
40分 (5分)	⑥植え込みを前に、再度、花苗の扱い方と植え込み方を実物を使って説明する。
↓	
60分 (20分)	⑦植え込み開始 ゆっくり丁寧に植え付けるよう指導する。
↓	
70分 (10分)	⑧植え込みが終了したところで、全体を眺める 植え込む前に設置した花苗の位置との相違や、植え方の技術を見る。
↓	
80分 (10分)	⑨グループに分かれて水やり、道具類の片づけ、ゴミの片づけをする。
↓	
90分 (10分)	⑩今後の管理について説明 時間があれば今日の感想を聞く。 ⑪終了の挨拶・解散
.....	
30分 (30分)	⑫片付け、スタッフ・教師・主催者等ミーティング・解散

## ■ 植え込み後の管理

・花壇を美しく維持していくための必要な作業を子どもたちと考え、管理計画を立てる。

(水やり・花ガラ摘み・病虫害の被害・切り戻しなど)

・可能であれば、植込み後も1～2ヶ月に1度、子どもたちの相談や作業指導に関わるようにする。

